



広報 なかわだ

第 329号

12月の予定

委員会	12月10日
ヨゼフ会	12月17日
大掃除	12月23日
主の降誕夜のミサ	12月24日 19時

委員会だより

△ 11月12日(日) 9名出席

■ 連絡事項

△ 行事計画

■ 連絡事項・行事計画

- 11/26(日)、12/3(日) 初聖体
- 12/23(土) 大掃除
- 12/24(日) 9時 待降節第四日ミサ
- 12/24(日) 19時 主の降誕節前夜ミサ
- 12/25(月) 10時 主の降誕日中ミサ

■ 審議事項

- 1) 中和田カトリック教会委員会運営規定の見直し
- 改定内容は、「10月委員会だより」審議事項(2)および「11月委員会後記」を参照ください。運営にあたって更に、07年信徒大会でご説明させて頂きます。
- 2) 2007年度教会委員公募について
- 委員長・副委員長は公募、委員はグループ推薦
- 公募開始は11/19

■ 各グループ連絡・報告事項

- a. 典礼G(布教G)...
- b. 行事G...
- バザー報告: 収益: 8312円(残品売上げ継続中で若干の追加を想定) 50万円を建設会計に残りを信徒会計に入れる。
- c. 広報G: 掲示板の使い方検討中
- d. 要理G...
- 11/12 藤沢教会と福生病院訪問
- 11/19 大船教会共同司牧に参加
- 11/20 母の会
- 11/23 ザビエル祭参加
- 12/24 クリスマスにて寸劇

e. 財務G

- 10月度迄の会計状況と予想の報告
- 一般会計: 月定献金が累計76%と不足気味だが、全体ではほぼ予算達成見込み。次期繰越金約300万円程度。



クリスマスおめでとうございます

助任司祭 渡邊 裕成



この広報がみなさんに届くのは待降節の最中、教会ではクリスマスの挨拶は、まだ少し早いのかもかもしれません。でも、待降節に入ると、みんなクリスマス・カードをやりとりし、クリスマスの挨拶を送るのだし、私は今年のクリスマスは中和田の皆さんと一緒に迎えることができないので、皆さんへのクリスマス・カードのようなつもりでこれを書くことにします。クリスマスにあたって、何かこころ温まる話がないかなと思い巡らして、思い出したのが、山梨地区にいた頃、山城教会のスプリリオ神父さんから聞いた話です。

スプリリオ神父さんは、ミラノ宣教会の宣教師で、もう山城教会に赴任してから40年程になると思います。山城教会は山梨県で一番古い教会で、教会ができてから120年くらいになります。山梨地区には、ミラノ宣教会が入る前には、パリ宣教会が入っていて、ミラノ宣教会が山梨地区に入ったときには、宣教の拠点は既に、山城教会から、駅近くの甲府教会に移っていたそうです。ミラノ宣教会でも、初めはそこに宣教師を送るつもりではなく、4人の司祭が甲府で一緒に生活していました。ところが、あるとき荒井司教さんが甲府教会に立ち寄って、司祭たちと話をしていてこんなことを言われました。「どうして、山城教会に司祭を送らないのか。司祭はひとりの人の魂の救いのために働くことが出来たら、それで充分ではないか。」そこで、スプリリオ神父さんが山城教会へ行くことになったそうです。

スプリリオ神父さんが山城教会へ行く前には、そこでは主日のミサはなく、人々は主日にミサのために集う習慣がなかったそうです。それに人々は貧しく、日曜日にも、市場へ野菜を持って行くなど、働かなければやって行けず、ミサにはあまり来ませんでした。私がスプリリオ神父さんを訪問すると、神父さんは、そんなミサにはあまり来ないが、しかし素朴で善良な信徒たちの話をよくしてくれました。その中のひとつのお話です。

山城教会のひとりの娘さんが、山梨の田舎でキリスト教のことなど口にもできないようなところに、嫁いで行きました。その方が、あるとき結婚以来50年ぶりに教会に訪ねてきました。もう50歳くらいになっているその方の娘さんも一緒でした。ご主人が亡くなって、少し自由がきくようになって、娘さんに教会に連れてきてもらったということでした。

しばらくお話した後、「一緒に祈りましょう」と、祈り書を渡すと、「いりません。全部頭に入っています」と。そこで、スプリリオ神父さんが先導して、主の祈り、めでたし、栄唱と祈ると、その方の口からも主の祈り、めでたし、栄唱が。さらに、公教会祈り書に従って、使徒信経、信徳唱、望徳唱、愛徳唱と唱え、その方の口からも同じように、50年間教会から離れていても、すらすらと使徒信経、信徳唱、望徳唱、愛徳唱が。でも、もっと驚いたのは、その方の娘さんの口からも、同じようにすらすらと祈りが出てきたことでした。

その後しばらくして、今度はその方ご自身が病に倒れ、もう最後ということで、教会に一緒に来たその方の娘さんがスプリリオ神父さんを迎えに来ました。病床のその方のところへ行ってみると、6人の子どもたちに囲まれていました。神父さんを迎えに来た娘さんは末の娘のようでした。そこで、神父さんが主の祈りを唱え、みんなも一緒に主の祈りを唱え、めでたし、栄唱と唱え、また同じように一緒に唱えました。それなら試しにと、神父さんが使徒信経、信徳唱、望徳唱、愛徳唱と唱え、みんなの口からも使徒信経、信徳唱、望徳唱、愛徳唱が。そこで、神父さんは不思議に思い、みんなはどのように祈りを覚えたのかと聞きました。

お母さんは、昼間は家では、キリスト教のキの字も口にすることができませんでした。お母さんは夜になると、ひとりひとり代わる代わる子どもたちを、ふとんの中に呼んで、一緒に祈り、祈りを教えました。誰かが昼間悪さをすると、「今日はあなたの番だけど、今日あなたは悪い子だったからだめ」と。そんな具合に、お母さんから子どもたちに祈りが伝えられました。

夜毎にふとんの中で、母と子が一緒に祈っている姿を思うと、こころ温まります。幼子イエスさまとマリアさま、ヨゼフさまだけの最初のクリスマスの夜の静けさの中の温もりと、何か重なり合います。

建設会計: 来年度は聖堂の内装はじめ大型修繕が計画されている。この工事は長期化が予想されるので、今年度(200万円計上)と来年度(残り工事費)に分けて進めたい。工事の詳細は12月10日管轄グループ会議にて検討予定。

愛の献金会計: ほぼ予定通り。

次年度予算への各グループからの要望として、典札から香部屋備品他で13万円追加要望。要理、行事、広報は今年度並み。

f. 事務G...

(a) 聖体奉仕者の募集(広報7月号委員会後記参照)

募集時期: 公募時期は典札Gにて今年度審議事項のフォロー

マリア会より引き継ぎの寄付は来年度別途決定

案内係: 復活祭、降誕祭では多数必要。各委員が名札を付けて対応。来年度は事務Gの中で数人の案内係を設置。

財務G主導で月定献金検討を推進する。

■ その他連絡事項・協議...

(1) 女史、ウロ会よりのクリスマスグッズ販売の要望については12/3(日)実施

(2) 藤沢教会のセンター化への意見・要請等。2月末までに回答要。次回検討

(3) クリスマスのパーティー(今年度はミサが7時から)今年も従来通り簡素に。子供達が食べられるように準備

06年11月委員会後記 下村委員長

今月の委員会後記は、「中和田カトリック教会委員会運営規定改定」と「教会委員公募方法の変更」について記します。

1. 中和田カトリック教会委員会運営規定改定

現在の「教会委員会運営規定」は05年12月委員会にて改定し、06年信徒大会でご説明しましたが、更に中和田教会の実態に即したものとす(12日)の委員会審議を重ね見直し、新規定を「11月委員会だより」に添付しました。ここでは、その考え方などを紹介します。

(1) おもな改定点は「教会(小教区)は、何を重点にすべきか」との疑問に対して、教区からは「典札・宣教・福祉を主体にしていく」と、研修等で指導されています。この内容を重視しながら一つ目には、中和田では従来「布教委員(宗教を広めること)」としていましたが、宣教司牧の考えから「宣教委員(神の教えをのべ伝えること)」に改め、教育(要理グループ)も含めて、第五地区等、他教会との交流による活動を活性化するため、宣教委員グループ(要理グループ・宣教グループ)内で相互に協力し合えるものになりました。

二つ目は、地域の福祉活動(既に第五地区では活動が行われています)にも、積極的に参加できるようにするため「福祉委員」を新設いたします。三つ目は、委員長を補佐する「事務グループ」を設置し、事務の仕事信徒の方々が理解し、助け合いながら的確に処理できることを目指します。具体的には、信徒台帳管理・委員会記録・その他、郵便物管理・事務を充実します。

この改定から委員の構成は現在の、委員長・副委員長・典札委員・行事委員・広報委員・財務委員・要理委員・書記委員の体制から、宣教委員・福祉委員が新設されます。宣教委員は(宣教委員は布教委員を読み替え)地区宣教活動・一般宣教活動の他、従来要理委員が行って来た要理学校等の「青少年教育」は、地区活動のなかで進めて頂く。そのため要理委員の称号は無くしますが、グループの意向により宣教委員を複数化することも可能として行きます。

また、書記委員グループは、新設の事務グループと活動を共にしていただき、グループの活性化を図っていただきます。

2. 教会委員の選出

06年11月19日ミサ後にお願した「中和田カトリック教会委員の公募」について詳細をご説明いたします。

現在の運営規定では、「委員は」信徒の中から立候補者を募り、立候補者が多数の時は話し合い、「立候補者が定員に満たない場合は委員会が推薦します」となっています。しかし、過去3年間は公募しても「どなたも立候補されません」。

(1) 今年度の公募方法(委員会での審議結果)

a. 「委員長と副委員長」は公募とします。(従来どおり)

b. 各委員はグループ活動が活性化してきていることから、「各グループの推薦とする」こととしました。

a-1 「委員長と副委員長」公募方法の一部修正

従来は一覧表に名前を記載し、立候補を表明して頂くようお願いしてきました。しかし、「一覧表への記載は(信徒間の和を尊ぶためか)弊害があるように思われます。今回は、「委員長と副委員長」立候補届票(個人書き)に記載された後、「委員長・副委員長公募箱」に入れて頂く方法に変更してみました。なお、立候補者票は自薦のみとして、他薦はいたしません。

このように行いますので、「中和田カトリック教会委員会運営規定」は改定せず、「委員会決定事項」で運営させていただきます。

今後、結果を見て良い方法なら運営規定を改定することを検討致します。

